

## 公開記事の追加編集について

日頃よりリディラバジャーナルを購読いただきありがとうございます。

この度、既に公開している記事内容について、追加編集を行う必要がある事象(以下本事象)が発生しました。その背景となる考え方と対応内容について、読者の皆様に向けてお知らせいたします。

本事象は、一般社団法人Soarの理事解任にまつわるものです。この度のお知らせは、被害者の方に被害を想起させる可能性を踏まえた上で、リディラバジャーナルとして、記事を追加編集する際の経緯と背景を読者の皆様に最小限に報告するものです。

以下の内容は、本事象に関する被害者の方に対して二次被害を誘発する恐れがあるため、現時点で該当すると推察できる方は、読むことを控えていただきますようお願いいたします。

-----

### 概要:

2019年9月13日、9月17日に掲載されたリディラバジャーナルの記事に登場している鈴木悠平氏が、一般の方へ加害行為に及んだことが、鈴木氏が理事として所属する(後に解任)一般社団法人soarから公表されました。このことを受け、リディラバジャーナルでは、当該記事に編集を加える判断を行いました。

### 発生事象:

元・一般社団法人Soar理事の鈴木悠平氏が、一般の方に加害行為に及んだことが、2021年3月29日、同団体より「理事解任のお知らせ」にて公表されました。事実関係について、鈴木氏も概ね認めています。

<https://soar-world.com/20210329info/>

(以下該当部分を引用)

#### 解任決議に至った経緯について

昨年、当団体又は当団体スタッフの各関係先の個人(複数名)の方から、鈴木との飲食の席またはその直後において鈴木より加害行為を受けたとの被害申告があり、鈴木本人がそれら申告内容の事実関係については概ね認めたため、当団体として、被害申告を受けたことやその内容を重く受け止め、また、NPOとしての法的・社会的責任を果たすべく、昨年末に内部調査チーム(当団体監事を責任者とする、理事1名、外部弁護士1名の計3名で構成されるもの。以下、「内部調査チーム」といいます。)を立ち上げ、被害申告いただいた方(以下、「被害者」といいます。)の被害状況や社会的評価・名誉感情に十分に配慮しながら、ヒアリングや証憑の確認などを通じ、慎重に事実確認を実施いたしました。

その結果、この度、被害者の方々と鈴木との間で概ね争いのない認定事実の範囲内で、鈴木において、違法であると評価し得る、または役員として相当性を欠く行為があったことが確認できたことから、当団体として、当団体定款第17条第1項第2号が定める「職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為」に該当する行為があったとして、2021年2月18日付け理事会での解任相当との決議を経て、2021年3月10日付け臨時社員総会において、解任の決議をするに至りました。

鈴木氏は、弊社が主催するR-SIC2019のセッションにモデレーターとして登壇し、その内容はリディラバジャーナルにて記事化されています。

鈴木氏の登場する記事：

「障害のある我が子」とどう向き合い、子育てしてきたか

<https://journal.ridilover.jp/issues/391>

「障害児の親になる」のは決して不幸なことではない

<https://journal.ridilover.jp/issues/392>

本件への対応：

該当記事には、鈴木氏の名前と写真が公開されていましたが、名前を「モデレーター」に変更し、写真を削除しました。

背景となる考え方：

- 本件には被害者が存在し、その救済と二次被害の予防が第一であると考えています。鈴木氏の発言を本人が特定できる形で公開することは、被害者の方が本人を想起する可能性があり、鈴木氏と認定できる情報は削除いたしました。
- 一方でセッション及び記事において鈴木氏はモデレーターの立場であり、個人の見解などは発言していないことが確認できました。
- 該当のセッション及び記事内容自体は本件とは直接関係がありません。その他の登壇者の方々ともご相談の上、リディラバとしては、記事の趣旨である「障害がある子の親の思いを広く社会に発信していくこと」は社会的価値が高く、公開が継続される意義も大きいと判断しました。

以上